

成田空港の更なる機能強化に関する要請

成田空港は、昭和53年の開港以来、我が国の空の玄関口としてのみならず、広くアジア地域のゲートウェイとしての役割をも担い、これに対応するための機能拡充が順次実現されてきました。

この間、県は、空港周辺市町とともに、成田空港の担う重要な役割等に鑑み、成田空港と地域の共生・共栄の理念のもと、空港機能の拡充に可能な限り協力してきました。

一昨年、国においては、今後の国際航空需要の伸展への対応や、わが国の国際競争力向上を図るため、成田空港の更なる機能強化が必要であると表明し、県をはじめとする地元自治体に協力を求めたところです。

これを踏まえ、昨年9月27日には、成田国際空港株式会社から、具体的な機能強化策及び環境対策・地域共生策の基本的な考え方等が提案され、この提案についての住民説明会に、県及び空港関係市町も参加し、直接、住民の方々の率直な意見を伺ったところです。この中では、「運用時間の拡大」、「集落分断の解消」、「航空機からの落下物対策」、「空港周辺地域の均衡ある発展」について、周辺地域住民の生活環境への影響を懸念し、強い不安と切実な要望が数多く出されております。

県としましても、成田空港の機能強化の必要性は理解しているものの、住民のこうした強い思いを踏まえて今回提出された成田空港圏自治体連絡協議会9市町首長からの要望を大変重く受け止めております。

(国・成田国際空港株式会社)においては、地元住民の声を真摯に受け止め、これらの課題の解決に向け、具体的な検討を行うよう、格別のご尽力をお願い申し上げます。

平成29年5月11日

国土交通大臣 石井 啓一 様

成田国際空港株式会社 代表取締役社長 夏目 誠 様

千葉県知事 森田 健作